

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日7月11日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、7月18日（火曜日）からです。

『京都のおねだん』

大野 裕之／著、講談社／刊、請求記号：291.62/Q,67

内容：「抹茶パフェ」のおねだん1080円、お地蔵さんのお貸出のおねだん3000円から、花街で遊ぶと…？ 京都の「おねだん」設定から、京都人の思考や人生観を解説する。

著者紹介：1974年大阪府生まれ。日本チャップリン協会会長、脚本家、映画・演劇プロデューサー。劇団とっても便利代表。映画「太秦ライムライト」でニューヨーク・アジア映画祭最優秀観客賞等を受賞。

『シーボルト『NIPPON』の書誌学研究』

宮崎 克則／著、花乱社／刊、請求記号：291/Mi,88

内容：シーボルトが帰国後に出版した「NIPPON」には、日本の風景・風習・人物・産業・技術・文化など膨大な情報が収められている。各国・各地に残る刊本・資料を渉猟し比較精査、その制作・印刷・出版過程を明らかにする。

著者紹介：1959年佐賀県生まれ。西南学院大学国際文化学部教授。文学博士。著書に「逃げの百姓、追う大名」「九州の一揆・打ちこわし」など。

『六市と安子の“小児園”』

大倉 直／著、現代書館／刊、請求記号：369.4/O,57

内容：1914(大正3)年、六市はロサンゼルスに日本人児童のための養護施設を設立。そこに保護され、六市の娘として育った安子は長じて後、日中戦争中に上海郊外に「小児園」を開設し…。近代史に埋もれた「父娘」の軌跡を描く。

著者紹介：1966年生まれ。ノンフィクション作家。著書に「命の旅人」「奇蹟の学校」「陸軍将校のつくったチーズ」など。

『ジブリの文学』

鈴木 敏夫／著、岩波書店／刊、請求記号：778.7/Su,96

内容：時代の空気をつかむために、どんな本を読み、いかなる文章術を磨いてきたのか。名プロデューサー・鈴木敏夫が語る。朝井リョウらとの対談も収録。歴史的ヒットを支えた「教養」と「言葉の力」、「ジブリの現在」がわかる一冊。

著者紹介：1948年名古屋市生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。株式会社スタジオジブリ代表

取締役プロデューサー。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。著書に「ジブリの哲学」「風に吹かれて」など。

『図書館情調』

日比 嘉高／著、皓星社／刊、請求記号：918.6/To,72

内容：人が本に出会い、人に出会うことによって、何事かが始まる物語の空間となる-。菊池寛「出世」、竹内正一「世界地図を借る男」、宮澤賢治「図書館幻想」などを収録した、「図書館」をめぐるアンソロジー。編者による解説付き。

著者紹介：名古屋市出身。筑波大学大学院文芸・言語研究科修了。博士(文学)。名古屋大学大学院人文学研究科准教授。専門は近現代日本文学・文化、移民文学、出版文化。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp